

ハートパイル

2015年
3月
154号



2月8日に、パパチカラ養成講座 第1回「子どもと一緒にウィンナー作りに挑戦」を開催しましたので、その様子をご報告いたします。

ドイツ国家認定ハム・ソーセージマイスターの梁瀬日出雄さんを講師にお迎えし、本格派ウィンナー作りを体験しました。



水鉄砲のような形をしたウィンナーメーカーでの腸詰め作業は、親子の息を合わせるのに一苦労。肉がなかなか出なかったり、皮が破れたり…。でも、2度、3度と繰り返すうちに先生の合格点がもらえるようになりました！ 次の工程は、75度のお湯で茹でる作業。お湯の温度をキープするのがポイントで、温度計との睨めっこが続きます。そして、茹でたてウィンナーの試食！「おいしい！」の声とみんなの笑顔に先生の顔もほころんでいました。

“パパチカラ養成講座”というタイトルに魅かれて講師を引き受けたという梁瀬さんは、「今のお父さん達は仕事も大事だけど家庭も大事と言われているので、少しでもそのお役に立ちたいと思っています。」と話されました。

今回の講座では、普段子どもと触れ合う機会が少ないというお父さん達が、遊び感覚のウィンナー作りを通して、子ども達の成長を感じながら父子の絆を深める時間となりました。

第2回は、“初”のパパ限定講座「美味しい珈琲の入れ方教室&パパのしゃべり場」です。どんな話が飛び出すのか…、どんな本音が聞けるのか…、期待が膨らみます♪



参加者の感想

- ★子どもたちがどんなことができるか、確かめながら、見ながら、話しながら楽しんで作ることができました。
- ★一緒に料理する機会がないので、楽しい時間が過ごせました。
- ★良い経験でした。子どもも積極的に取り組んで、良いウィンナーができました。
- ★混ぜる・こねる・詰める、の作業も遊び感覚なのが良かった。
- ★うまくてよかった！ ★共同作業が楽しかった。 ★次があればまた参加したいです。



父親を楽しんでいますか？

子育て中のお父さん、父親業を楽しんでいますか？

いま、イクメン人口は増えてつありますが、まだまだ「イクメンになるのは大変そう…」というイメージを持つ男性が多いようです。確かに、職場風土や制度改善が必要という課題もあるのですが、まずは、自分のできること、やれることから始めてみませんか。

共稼ぎ世帯が多い現代社会では、家事や育児の協力者が多いほど心強いものです。

家事・育児の楽しさや難しさを共有し、仕事との両立を工夫しながら、父子の思い出をもっと増やして、親子や夫婦の絆を深めていきましょう！

内閣府ホームページの「男性にとっての男女共同参画コラム」では、男性の家事・育児の参画について、笑える失敗談や参考にしたい体験談などが多数紹介されています。

ぜひ、下記のURLからご覧になって、参考にしてみてください。

http://www.gender.go.jp/policy/men_danjo/column/index.html



男性の育児休業取得意向と実際

パパ達の理想と現実

- ▶ 育児休業を取得したいと考えている男性は、3割を超えています。
- ▶ 男性の育児休業取得率は長期的には上昇傾向にありますが、低調となっています。

両立支援制度の利用意向

	全体	男性	女性
調査数(n)	1,553	752	801
育児休業制度	50.9%	31.8%	68.9%
育児のための短時間勤務制度	48.9%	34.6%	62.3%



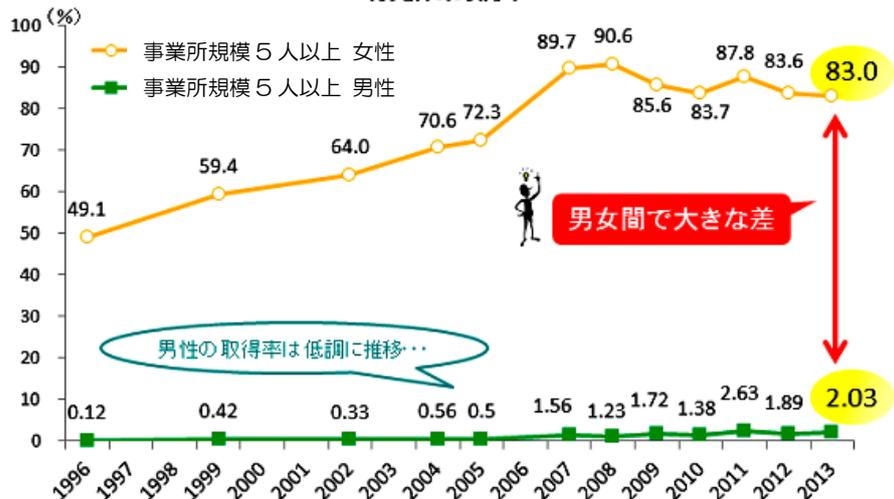
約3割は制度を利用する意向あり

厚生労働省

「今後の仕事と家庭の両立支援に関する調査結果」
(2008年)より作成

1. 厚生労働省「雇用均等基本調査」より作成。ただし、2007年以前は、厚生労働省「女性雇用管理基本調査」による。
2. 数値は、調査前年度1年間(平成23年度以降調査においては、調査開始前々年10月1日から翌年9月30日までの1年間)に配偶者が出産した者のうち、調査年10月1日までに育児休業を開始した者(開始予定の申出をしている者を含む。)の割合。
3. 2010、2011年度の値は、岩手県、宮城県及び福島県を除く全国の結果。

育児休業取得率



内閣府ホームページ「男性にとっての男女共同参画」より

《 連絡先・問合せ先 》 大村市男女共同参画推進センター「ハートパル」

〒856-0825

大村市西三城町8番地 総合福祉センター3階

TEL: 0957-54-8715 Fax: 0957-54-8700

Eメール: danjyo-s@city.omura.lg.jp

利用時間 9:00~22:00

問合せ時間 8:30~17:30

(年末年始は休館)